



おい かわ たすく  
及川 佐  
(奥和会)

## 地域自治区についての説明機会を

**質問** 議会への説明は、1月20日全員協議会、2月27日の市長の所信表明演述であり、なぜ、遅れたのか？

**市長** 意思表示をすることを先行させた。遅いが今後丁寧な説明をしたい。

**質問** 『地域自治区がなくても地域課題の意見具申機能は現行制度の中の工夫で可能』というが、地域協議会には条例による権限があるが、どうするつもりか？

**市長** 地域協議会の役割は終えており、地域自治区がなくても意見を聞くことはできる。

**質問** 来年は合併10年であり、地域自治区について時間をかけ検討の必要がある。日程が先にあるのではなく、地域自治区や協働のまちづくりについて市民の皆様と議論し、合意を得るための努力が重要である。市民の皆様は説明し議論する機会を作る考えはあるか？

**市長** 今後丁寧な説明をさまざまな機会を通じて心掛けたい。



いわてクリーンセンター全景（江刺区）

## クリーンセンターの跡地利用は

**質問** クリーンセンター跡地のあり方を、法的整備も含め具体的にプランに着手することを県に要求していくべきである。そのことが奥州市の最終処分場の対応にも大いに活用できると思うが見解は？

**市長** 跡地については環境配慮型として活用も含め県と相談していく。



ち ば あつし  
千葉 敦  
(日本共産党)

## 「えさしクリーンパーク」は存続させるべき

**質問** 産業廃棄物最終処分場の「いわてクリーンセンター」の焼却業務は平成28年3月に終了予定である。えさしクリーンパークはこの余熱を利用して、るので、市は終了後、重油を使用するとしている。重油では、費用が増えるので、県に支援を要請すべきでは。

**市長** 県は焼却終了時に廃止を考えている。市としては、いわてクリーンセンターの埋設業務が終了する平成33年までは継続するように、クリーン岩手事業団や県と意見調整中である。

**質問** 重油では二酸化炭素を出す、同じ費用なら、地域の木材チップを使用するボイラーにすれば、地球環境にやさしいと考えるが、市長の見解は。

**市長** チップボイラー設置には新たな経費が必要で、費用対効果の点で難しい。

**質問** 市が、「全市民週一運動」を推進するのであれば、えさしクリーンパークのプールは存続させるべきと考えるが、市長の

見解は。

**市長** 存続できるよう、県と協議していく。

## 未除染草地への対応は

**質問** 東電福島原発事故により、奥州市内の牧草は、放射性物質に汚染された。市内の草地はすべて、除染作業が行なわれることとなった。しかし、山間地では石ころが多く、作業ができず草地が荒れている。これに対する対応策は。

**市長** 未除染草地を所有する農家には、代替牧草を続ける。荒れた草地の再生について、県と協議し、対応していきたい。



えさしクリーンパーク（江刺区）